

子育て《4つの離さない》

～「初宮詣で」のお父さん・お母さんへのお話～

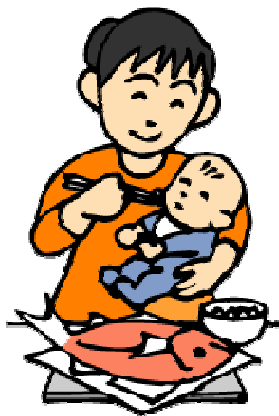
尾道市向島町 鎮座
巖島神社 宮司 児玉 道隆

本日は可愛い赤ちゃんの「初宮詣で」にようこそお参り頂きました
お子様の健やかなご成長を祈念いたしまして、宮司の「子育て 4つの離さない」のお話をさせて
頂きます
お父さん・お母さんは、神様から授かりました大切な「お子様」を日々愛情いっぱいにお育てに
なっておられることでしょう
お子さんが成長されるに従って、お父さんお母さんに
心がけて頂きたいことを、《4つの離さない》と題して
お話させていただきます



1つ目の離さない 《肌を離さない》

赤ちゃんは生まれた日から始めての「満1歳お誕生日」を
迎える頃まで（歩き始める頃）は決して
「肌を離さない」でおいて下さい
ご両親の愛情をいっぱいしっかりと抱きしめてあげて下さい 両親の暖かい肌のぬくもり
を十分に伝えて下さい



2つ目の離さない 《手を離さない》

歩き始めたお子さんには、しっかりと「手を離さない」
で下さい
どんな危険な所へでも平気でいきます
何時でも、どんな時でもすぐにお父さん、お母さんの
救いの手が差し延べてもらえるという安心感を与えて
下さい

3つ目の離さない 《目を離さない》

3歳の頃になりますと、自我が芽生えます
何処にでも行きます 何にでも興味を示します
言葉もいっぱい覚えます
この頃になると「目を離さない」で下さい
良いことをした時はいっぱい褒めて下さい
反対に悪いことをした時には、真剣に 叱って下さい
3つ子の魂（たましい）100までと言います



（昨今子供を叱れない親御さんが多く見受けられます）

特に「嘘（うそ）」をつかないこと、公共のマナーを守ること、器物を大切にすること等をこの頃しっかりと教えて下さい



4つ目の離さない 《こころを離さない》

保育所・幼稚園へ通うようになりますと、お友達も
いっぱいできます
外でいっぱい遊んできたら、お父さん、お母さんに
沢山お話を聞いて欲しくなります
子供の話には十分に耳を傾けましょう
しっかりと子供の話に耳を傾けて「こころを離さない」
で下さい

今忙しいから後でね・・・これは〈しかと〉の始まりです 十分な親子の会話が無く
大きくなった子供は、決して成長しても大事なことを親に相談しなくなります

小学校へ入学しますと、あとは学校の先生が色々と教育をしてくれますが、大切なことは、
小学校へ入るまでの期間、いかにご両親が愛情いっぱい「子育て」したかです
勉強は学校へ入れば先生が教えてくれますが、子供の「躰（しつけ）」は、小学校へ入学する
までに、お家の人がするものです

お参りの後の方で、「お神楽」を朗詠して拙い唄をうたいました
その中の一つに、明治天皇の御製があります
「さまさまの うきふしを経て呉竹の 世に優れたる 人とこそなれ」

どうぞ公共心を大切にする、またお年寄りや弱いものをいたわる、優しいこころを
持った素晴らしいお子様にお育て下さい
また何時でも神社へお越し下さい お待ち申しております